



まごころ

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します

前田院長ご挨拶

皆様、平成 26 年を迎えてからすでに 2 ヶ月たとうとしております。まだまだ寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

1 月に、あれ程猛威をふるったインフルエンザも雨が降って適度な湿度が戻った後急速に流行が終わってしまいました。幸いなことに入院中の患者様には、インフルエンザは発症しておりません。もちろん、いわゆる風邪によって熱を出してしまう患者様がいらして、御家族の方にはご心配をおかけしました。こちらの方もピークを過ぎて沈静化してきております。

さて、今年は慈英病院が開院して 30 年になろうとしております。特例許可老人病院からスタートし、その間に制度が変わり、今では療養病床と呼ばれるようになっております。職員数も 50 名弱だったのが、今では 100 名を超えております。

入院する患者様の状態も 30 年間でかなり変化しております。以前なら一般病院で見っていたような、気管切開・酸素吸入が必要な状態や人工呼吸器を使用するような重症な状態の患者様が入院するようになってきております。開業当時であったなら、とても現在のような重症な患者は入院させられませんでした。このことは、職員一同が絶えず努力をし、どのような状態の患者様であっても入院をお引き受けすることの出来る力をつけた証拠であると考えております。

また、去年「日本医療機能評価機構」の認定病院となることが出来ました。このことも病院自体の力をつけた証だと思っております。

今年は、「2 年毎の医療保険制度の改定」と「消費税増税」がいっしょにおこる年になっております。なにかと、皆様にはご不便をおかけするかと思いますが、分からない点などありましたら気軽に質問をして下さい。出来る限り説明させていただきます。

これから、「真心を込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指す。」という理念に恥じないよう頑張っていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。



お正月

「午年」 馬は「物事が” うま” くいく」「幸運が駆け込んでくる」などといわれる縁起のいい動物です。そして、さかさに書くと巾着でお金を包みこんでみえることから金運アップ、左には倒れないことから商売繁盛ともいわれています。



お正月が
きましたね

きれいにていねいに・・・

お酒はうまい！

お正月には慣わしである書初め、お屠蘇、おせち料理と新年を迎えて様々な行事がありました。今年も患者さま、ご家族、職員で楽しく、有意義な時間が過ごせるよう工夫していきたいです。

クリスマス会

平成 25 年 12 月 13 日 東病棟食堂にてクリスマス会を行いました。
忙しい中、足を運んで頂きありがとうございました♪参加者も多く楽しい会になりました！！



川の流れのよ〜に〜♪



ひな祭りおもてなしレシピ

ラップでひな祭り手鞠寿司 おもてなし・春お花見にも♪

ご飯をかために 3 合分炊きます (5 人分)

▲サーモン寿司▲

- ・刺身用サーモン 5 切れ
- ・寿司酢 適量
- ・ワサビ 細ネギ 少々

ラップにサーモンの薄切りをのせ、ワサビをつけ寿司飯をのせてラップでキュッと丸める。
ネギをのせて出来上がり！

●卵のお寿司●

- ・ちらし寿司のもと 二人前
- ・錦糸卵 適量
- ・イクラ 少々

ご飯お茶碗 1.5 杯分位にちらし寿司のものを適量混ぜ、ラップでキュッと丸め、卵もまとわせ再び丸め直す。
イクラをのせて出来上がり！

■桜のお寿司■

- ・桜の塩漬け 花 13 本分
- ・寿司酢 適量

桜の塩漬けを洗い、水で 10 分塩抜きする。
飾り以外の桜を細切りにしてご飯に混ぜ、ラップで飾りの桜と共に丸める。

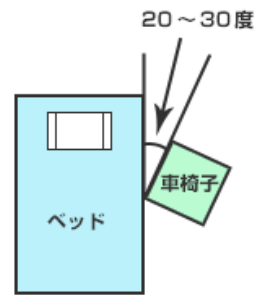


炊きたてご飯から 20 分で出来ますヨ！！ 具はイカでもシソでも何でも好きな物でOKです！
おひな祭り・お誕生日・お花見などにパッと華やかでかわいい手鞠寿司はいかがですか？

ベッドから車いすへの移り方

【車椅子の置き場所】

車椅子はおしりの移動距離を短くするために、ベッドの側面に対して「20度～30度」に置きましょう。適度な角度をつけることによって、ベッドと車椅子との隙間が少なくなります。さらに、本人が車椅子の肘置きにつかまりやすくなります。また、麻痺がある人の場合、車椅子は本人の「健側（麻痺のない側）」に置きましょう。健側に置くことで、移動の際、本人が健側の手で肘置きにつかまることができ、安全に移動することが可能になります。



① ベッドに腰掛けている本人のお尻をずらしながらまえに移動し床に両足がつくように浅く腰かけてもらいます。そして、車椅子を本人の方に引き寄せます。この時、車椅子のブレーキがかかっているか、足置きを上げているか確認します。



② 介護者の肩につかまってもらい、十分に前のめりになりながら立ち上がります。介護者は大きく足を開き、本人の前のめりに合わせ、腰を低くしながら介助します。両腕は本人の背中に回します。本人が自分で立ち上がる場合には、肘置きをつかんで立ち上がってもらいます。



③ 本人がバランスを崩さないよう支えながらゆっくり方向転換します。



④ 本人に足を少しずつ動いてもらい、無理のない姿勢で方向転換します。



⑤ 本人と車椅子の間に隙間がないよう、安全に座ってもらう体制を整えます。



⑥ 本人に車椅子の肘置きをつかんでもらい、立つ時と同じく、十分に前のめりになりながら車椅子に座ります。介護者は大きく足を開き、膝を曲げて介助します。



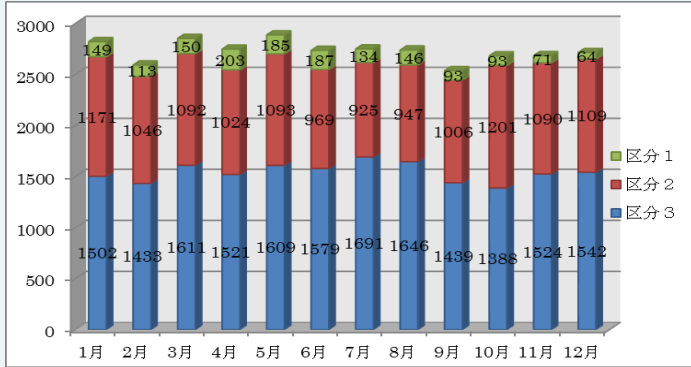
⑦ 足を足置きに置き、お尻を後ろにずらして深く座ってもらいます。本人が自分で深く座れない場合は、本人に少し前のめりになってもらうとお尻が軽く浮くので介助者は浮いたお尻を両手で後ろに引くように介助します。

【移動させる時のポイント】

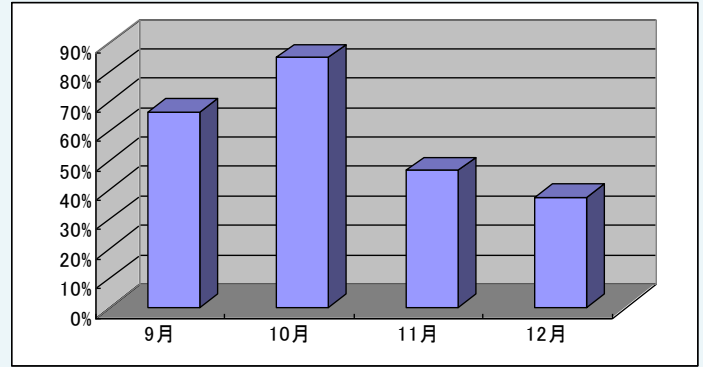
1. 移動させるときに、本人から眼をはなさないようにします。
2. 足置きを上げないと、転倒の危険性が高くなりますので、必ず上げて行います。
3. 本人に少し前のめりになってもらうことで重心が前の方に移り、移動しやすくなります。

クリニカル・インディケータ（平成25年）

医療区分別入院患者数



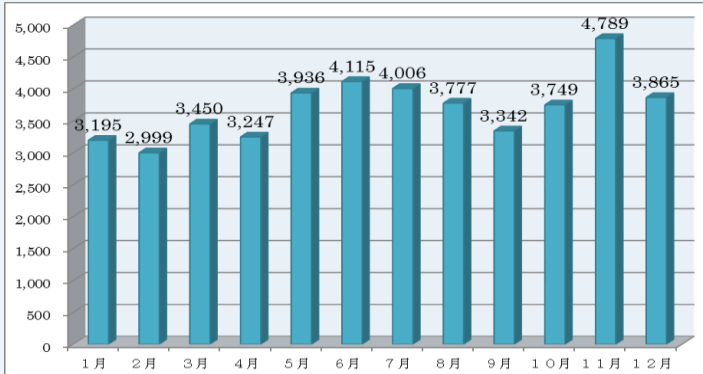
栄養状態が改善した患者



褥瘡の保有率と治癒率



リハビリテーション実施単位数



経口摂取が可能となった事例

嚥下障害があり、入院当初は経鼻栄養食からの栄養摂取が中心の患者さまです。

ご本人さま、ご家族の「口から食べたい（食べてほしい）」という思いから最初はあめやシャーベット、ゼリーを食べる練習から始めました。次第に味の変化や感想も伝えて下さるようになり、食べたいものを伺うと「ぎょうざ、スイカ、焼酎」と答えて下さったので後日ご希望の3品を食べていただきました。

特に焼酎はご本人さまの大好物という事もあり本当に美味しそうに召し上がっていました。それからも訓練を継続され、現在は3食口から食事をとられるようになりました。

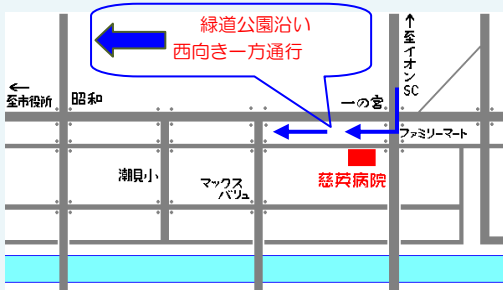
《備考》 平成25年9月9日（昼食のみ）100kcal 開始 →→→ 10月16日 200kcal 開始 →→→ 11月21日 300kcal 開始 →→→ 12月20日（朝食+昼食）朝食 100kcal 開始 →→→ 12月27日朝食 300kcal 開始 →→→（3食経口）平成26年2月1日朝食 300kcal・昼食 400kcal・夕食 300kcal

第10回家族教室の開催

開催日：平成26年3月21日（金）春分の日
 開催場所：1階図書研修室
 開催時間：14:00~16:00
 内容：「褥瘡について」
 講師：医師 嶋田 陽一

ひな人形づくり（2月）

毎週月曜日 14~15時
 さまざまなレクリエーション
 をおこなっております！



慈英病院

診療科目：内科・神経内科・リハビリテーション科
 〒880-0853 宮崎市中西町160番地
 TEL 0985-23-5000 FAX 0985-23-5886
<http://www.jiei.jp> e-mail info@jiei.jp

編集委員

枝本由紀
 江藤裕子
 黒松和子
 鮫島亜里紗
 清泰蔵
 中武千鶴子
 浜田和子
 東洋一